



2025年 9月 3日
第034号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第3号

「横浜線ワンマン運転について」に関する
解明申し入れ（その2・営業） **本日提出！**

【解明申し入れの項目】

1. 横浜駅京浜ホームおよび関内駅北行ホームにおいて、ホーム立ち番の体制に変更が生じるのか、会社の考えを示すこと。
2. 横浜線ワンマン運転の列車に対する、終電赤縛りも含めた乗降終了表示の掲出方法と運転士の確認方法について示すこと。また、根岸線においては横浜線ワンマン運転の列車と京浜東北線ツーマン運転の列車が混在するため、現行の横浜駅と関内駅北行で実施している閉扉時期表示器を用いた乗降終了表示について、横浜線ワンマン運転の列車と京浜東北線の列車それぞれの取り扱いについて、具体的に示すこと。
3. 横浜線ワンマン運転開始後の横浜線全線および根岸線内における発車ベルの使用方法について明らかにすること。また、南武線ワンマン運転においても課題になっている車両搭載の発車ベルの音量について、横地申第15号団体交渉では「様々な意見があり、非常に悩ましい。引き続き何ができるか検討している」と回答があったが、進展ならびに対策があれば示すこと。
4. 横浜駅において、横浜線直通列車が南北行同発になった場合の乗降終了表示実施方法ならびに誤乗防止を含めたお客さまへの放送案内の実施方法について、会社の考えを示すこと。
5. 横浜線ワンマン運転の列車に対して乗降終了表示を掲出後、駆け込みによる荷挟まり等で駅社員から運転士に対して、再開扉を依頼する際の連絡方法および対応方法について示すこと。
6. 横浜線ワンマン運転開始後の大船駅を含む入区および磯子駅折り返し時（電留線引き上げ）の車内貫通方法について、横地申第15号団体交渉では「各関係駅とコミュニケーションを図りながら検討している。なお、ドア閉扉については運転士が行う方向で検討している。」と回答があったが、進展があれば示すこと。
7. 車いす等の対応における連絡手段について、横地申第15号団体交渉では「バディコムの使用を検討している」と回答があったが、進展があれば示すこと。また、バディコムに充電切れや設定不良、通信障害等の不具合が発生した場合の駅側の取り扱いについて、南武線ワンマン運転における実績も含めて示すこと。
8. 南武線において車いす等のご案内で駅社員が着用しているピブスについて、横地申第15号団体交渉では「各駅とコミュニケーションを図っており、検討している最中である」と回答があったが、進展があれば示すこと。
9. 横浜線ワンマン運転開始後の車いすおよび目の不自由なお客さま等の乗車場所について、会社の考えを示すこと。
10. 横浜線ワンマン運転開始後における団体旅客乗車時の対応方法について、会社の考えを明らかにすること。
11. 車載モニター故障発生時の対応方法について、横地申第15号団体交渉では「まずはシステム復帰を試みる」と回答があったが、駅側の取り扱いについて会社の考えを示すこと。
12. 横浜線ワンマン運転開始後の列車遅延時における案内放送を含めた駅の対応方法と体制について、会社の考えを明らかにすること。また、運行変更および順序変更等の発生時や列車遅延時における相模線や八高線等への乗り換え接続可否についての連絡方法、振替輸送実施線区等の駅への周知、連絡方法を示すこと。

全12項目を申し入れ！
組合員の声をもとに交渉を行っていきます！